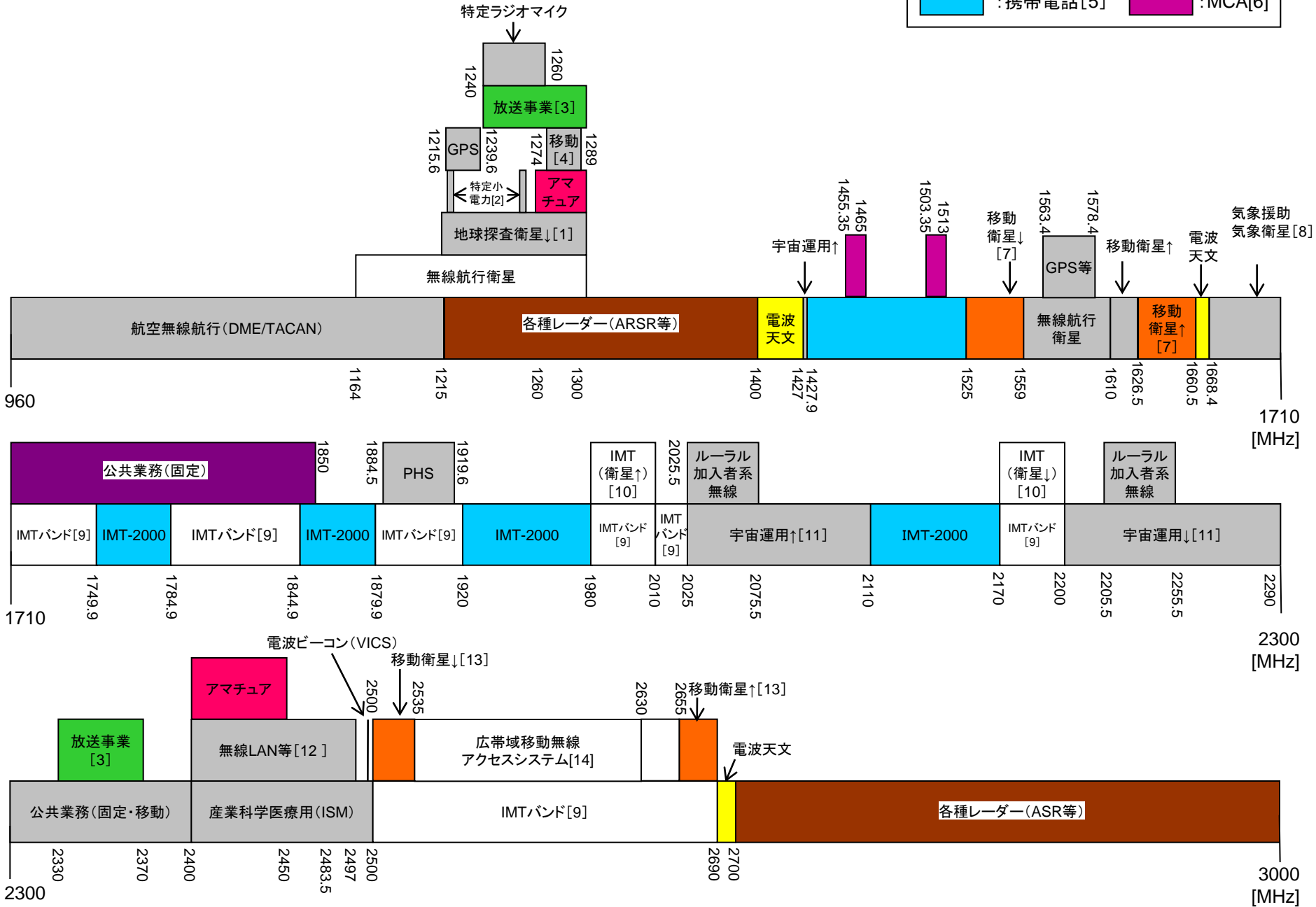


960MHz～3000MHz

:携帯電話[5]
 :MCA[6]



電波の使用状況に関する補足説明

【960－3000MHz】

番号	周波数帯(MHz)	主な用途等
[1]	1215－1300	陸域観測衛星等で利用
[2]	1216－1217、1252-1253	データ伝送装置等の免許を要しない無線局(特定小電力無線局)
[3]	1240－1300	放送事業者のTV番組素材中継
[4]	1274－1285	画像伝送用
[5]	1427.9－1525	携帯電話 北海道、関東、東海、近畿、中国及び九州の地域においては、IMT-2000による1455.35-1462.9MHz及び1503.35-1510.9MHzの使用は、2014年4月1日から
[6]	1455.35-1465、1503.35-1513	MCAIによる使用は、2014年3月31日まで(北海道、関東、東海、近畿、中国及び九州の地域に限る。)
[7]	1525－1559、1626.5－1660.5	インマルサット衛星等による移動体衛星通信サービス
[8]	1668.4－1700	気象衛星のデータ伝送、気象ラジオゾンデ
[9]	1710－2025、2110－2200、 2500－2690	IMTの地上系に特定された周波数帯 1749.9－1784.9MHz／1844.9－1879.9MHz、1920－1980MHz／2110－2170MHzでIMT-2000(二周波方式)として利用 2010－2025MHzで一周波方式として利用
[10]	1980－2010、2170－2200	IMTの衛星系に特定された周波数帯
[11]	2025－2110、2200－2300	衛星及びロケットの追跡管制

番号	周波数帯(MHz)	主な用途等
[12]	2400-2483.5、2471-2497	無線LAN等小電力データ通信システム、移動体識別(2400-2483.5MHz)
[13]	2500-2535、2655-2690	移動体衛星通信サービス
[14]	2535-2630	2545-2575MHz及び2595-2625MHzは全国展開する移動通信で使用 2582-2592MHzは各地域における移動通信又は固定的な通信で使用